

## アラカルト

塚越税務会計事務所所長



塚越正司さん

masashi tsukakoshi

自分のために  
勉強を楽しんで

埼玉県中小企業団体中央会で約22年間にわたって勤務された後に独立、現在は税務会計事務所の所長を務められている塚越さんに中央会の業務や組合士の試験勉強などについてお聞きした。

## ●中央会も組合士も魅力的な存在

塚越さんは昭和46年に明治大学を卒業後に埼玉県中小企業団体中央会の職員となり、昭和51年の第2回組合検定試験に合格している。

「当時、受験は半ば強制的だったのですが、組合の歴史や運営、法律などを体系的に学べたので、その後の仕事にとっても役立ちました。若い方は特に受けてほしいと思います。私の場合も、同期がたくさんいたこともあって頑張れました。いい意味で競い合えるので、たくさんの人に受けていただきたいですね」と笑顔を見せる。

埼玉県中央会を志望したきっかけは公共職業安定所の求人票だった。

「業務内容に『中小企業を指導する』とあって、興味を持ちました。また、面接を担当した当時の専務が『日本を支えている中小企業を自分たちが支えている』ということを熱心に語っておられて、感動したのを覚えています」

採用が決まって働き始めると、フレンドリーな事務所の雰囲気がとても印象的だった。

「違う部署の人もととても親切に仕事を教えてくれて

驚きました。退職後も、中央会からは講師として講習会などに呼んでいただいたり、顧客を紹介していただいたり、当時と変わらないやさしさを感じています。また、なんといっても中央会の魅力は『幅広い情報に接することができること』と、『20代のうちから中小企業のトップと直接会って話せること』です。これはなかなか経験できないことです。組合士としての知識を持っていれば、さらにこの経験の幅を広げることができます。せっかくのチャンスですから、自分のために楽しんで受験勉強に挑戦してください」

## ●机に向かう習慣を身につける

どのような勉強方法が効果的なのだろうか。

「私の場合は、疲れていても毎日1時間勉強するようにしました。仕事を終えてからまた勉強するには体力も必要ですが、まずは机に向かうことを習慣化するのが大事です。ひとまず2年間の期間を区切って勉強なさってはいかがでしょうか。毎日続ければ、相当な力になります。居眠りしてもいいですから、とにかく毎日机に向かってテキストを開いてください」

どうしても眠い時、やる気が出ない時には、組合士の資格、仕事を改めて考えるといいかもしれない。

「組合や中央会といった内部にいる方は案外気がついていないのかもしれませんが、組合士の資格って外部から見ると、とても魅力ある資格なのです。顧客に説明すると、とても興味を示してくださる方が多いですよ」

## ●人生にムダはない

塚越さんの事務所のモットーは、“何事にも前向きにチャレンジする精神”でお客様の立場に立って考えること。

「税理士の仕事においても、中央会で学んだことと組合士としての知識はとても役に立ちましたね。税金以外の分野での中小企業向けの助成金や各種制度などもアドバイスできるので、顧客からも喜んでいただいています」

現在は税理士2名、公認会計士1名、税理士有資格者1名、ファイナンシャルプランナー2名が在籍、職員全員が税理士試験にチャレンジしている活気ある事務所である。

「この活気はとても大事だと思います。誰かに命令されてやっているのではなく、自分のために楽しんで勉強しているから、明るくて前向きな事務所になるのだと自負しています」

自分のために楽しみながらチャレンジすることは、受験以外でも必要なことだ。簡単ではないが、実践していきたい。